

南畑 八幡神社

鎮座地： 埼玉県富士見市下南畑 1 1 4 8

祭神： ・菅田別之命（ほんだわけのみこと）・神功皇后（じんぐうこうごう）
・姫大神（ひめおおかみ）
・阿蘇津姫命（あそつひめのみこと）・菅原道真公 ・北極星



<社碑 及び 鳥居の前から、参道・拝殿を見る>↑

社碑 と 鳥居の額束



拝 殿



拝殿 正面から（入母屋 回廊付）↑



拝殿 鬼瓦・懸魚 ↑



本殿 ⇔ 神饌殿 ⇔ 幣殿 ⇔ 拝殿



左横からの、本殿⇔神饌殿⇔幣殿⇔拝殿 ↑



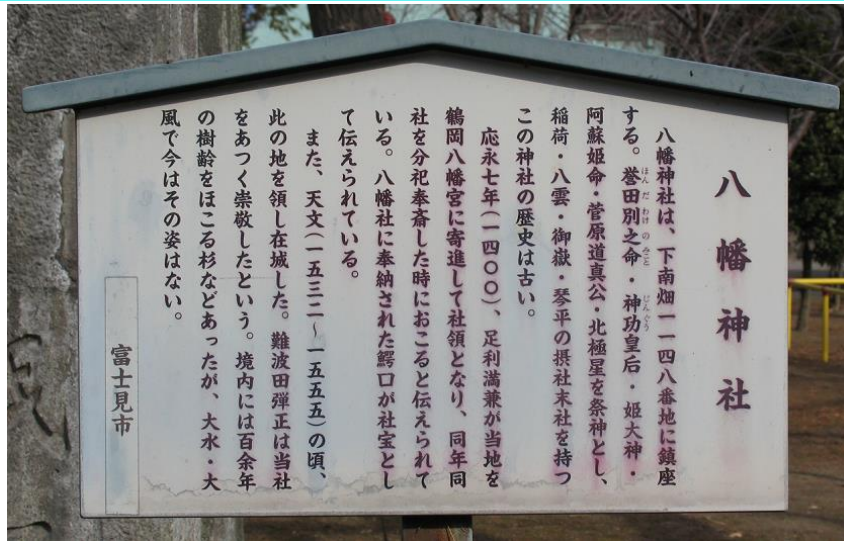
横から、本殿



後ろから、本殿

◆昭和16年（1941）に県立川越中学（現川越高校）内に建てられた奉安殿を移築したもの◆

神社の説明文より



■信仰：

(表現なし)

■由緒：

当社は下南畑の鎮守であり難波田城の傍に鎮座する。応永7年（1400）当地を足利満兼が鶴岡八幡宮に社領として寄進したことにより同年間同社を分祀奉斎されたものと伝えられる（埼玉県史）

難波田弾正は当社を厚く崇敬した。

明治5年（1872）村社に別格

昭和3年（1928）3月15日供進神社に指定される

・・・「入間神社誌」より

■摂末社：

稲荷神社

八雲神社 八雲神社の夏祭行事には獅子舞の奉納があつて賑わう

御嶽神社

琴平神社

■祭典（年中行事あるいは祭事）：

一月一日 歳旦祭

二月二十四日 祈年祭

三月十五日 例祭

十一月二十五日 新嘗祭

特殊神事 春秋2回 獅子舞

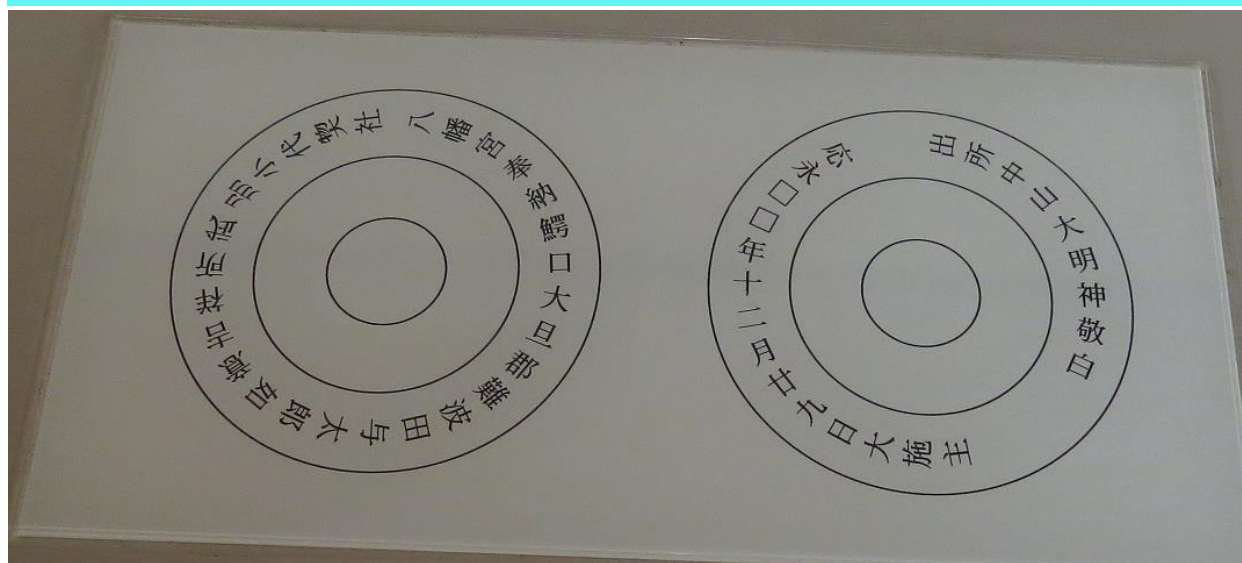
★下南畑八幡神社に奉納されている社宝はなにか。

下南畑八幡神社は応永7年(1400)、南畑地域を鎌倉鶴岡八幡宮に寄進して神社の領地となり、同社を分祀奉納したと伝えられています。神社に奉納された室町時代の鑄造(ちゅうぞう)の鰐口(わにぐち)は社宝と伝えられています。明治時代に新潟のお寺から八幡神社に移されました。これの表裏には銘文が刻まれており、表には応永期(1394~1428)に中山大明神に奉納されたことが、裏に難波田与太郎が小代総社八幡宮に再び奉納したとあります。難波田与太郎は、難波田氏一族で、16世紀後半に宗岡(志木市)に領地をもっていました。中世の貴重な資料のため、平成13年(2001)に市指定文化財となりました。

★田園の中で緑豊かな木々に囲まれた南畑八幡神社。年2回、悪疫退散・五穀豊穡を願って獅子舞が奉納されるが、7月と何月か。

田園の中で緑豊かな木々に囲まれた南畑八幡神社では、毎年7月と10月に、悪疫退散(あくえきたいさん)・五穀豊穡(ごこくほうじょう)を願って獅子舞が奉納されます。獅子舞は市指定民俗文化財になっており、南畑八幡神社獅子舞保存会のみなさんにより伝承されています。夕方4時ごろから、笛の音とともに舞い始めます。

「難波田資料館」に、
鰐口(複製)と南畑八幡神社獅子舞模型
が展示されています



富士見市ホームページにも、「南畑八幡神社と獅子舞」について記載されています

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒
「歴史探訪『ふじみ・発見!』」⇒「南畑八幡神社と獅子舞」を参照してください。

文化財

神社には、応永年間に奉納し、後に難波田与太郎によって再奉納された鰐口が残されています。難波田氏の名前が刻まれている中世の金石資料として市指定有形文化財となっています。



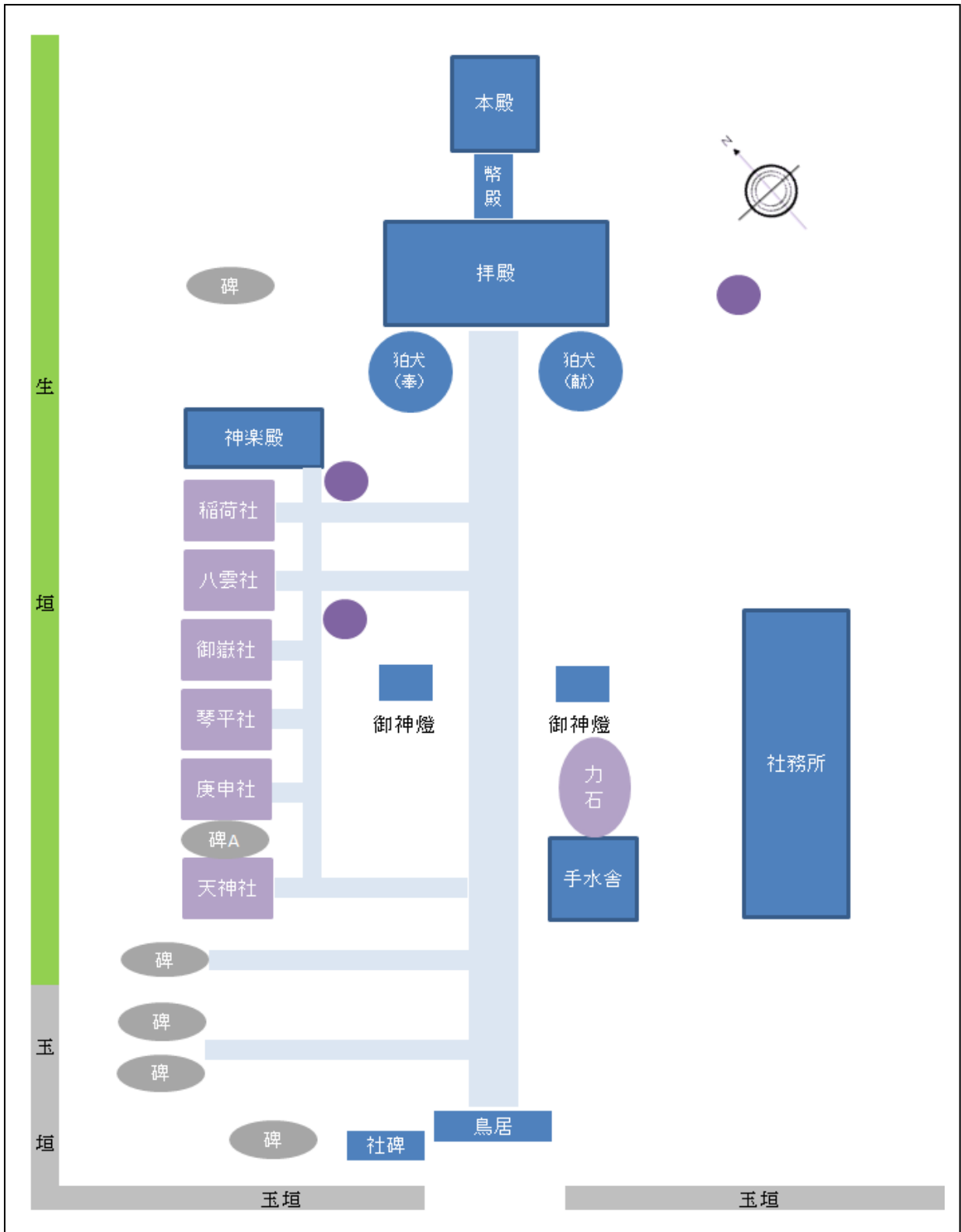
拝殿裏の本殿は、昭和16年(1941年)に県立川越中学(現川越高校)内に建てられた奉安殿を移築したものです。この奉安殿は東京帝国大学で西洋建築を学んだ建築家、室岡惣七が設計したものです。室岡の設計した建築物には、入間市の旧石川組製紙西洋館や川島町の遠山記念館・旧遠山元一郎邸があります(いずれも国登録有形文化財)。



境内では、7月の夏祭(天王様)と10月のお日待に、悪疫退散と五穀豊穡を願い、南畑八幡神社獅子舞保存会による獅子舞(市指定民俗文化財)が奉納されています。起源は明らかではありませんが、江戸時代末には行われていたと言われ、男獅子・女獅子・中獅子・猿若太夫(山の神)によって舞われる「さら獅子舞」です。



境内の概略配置図



富士見市保存樹木 けやき

生垣・玉垣



神木

入間神社誌（昭和46年発刊）では、
杉 樹齢百余年となっていたが見当たらなかった

手水舎



神楽殿



御神燈



狛 犬



摂末社・境内社



稲荷社



八雲社



御嶽社



琴平社



庚申社



天神社

力石



<力石>

八幡神社には4つの力石があり、そのうち2つには石の重さとそれを奉納した年月が記入されています。石に書かれた重さと実際の重さは少し違いますが、最も軽いものでも100Kg近くあります。

(約135・約165・約135・約154)

記念碑



碑A

南畑は、古くは難畑、あるいは難波田と書かれていました。当石碑には正徳3年(1713)難畑の文字が読み取れます。

地名<南畑>については

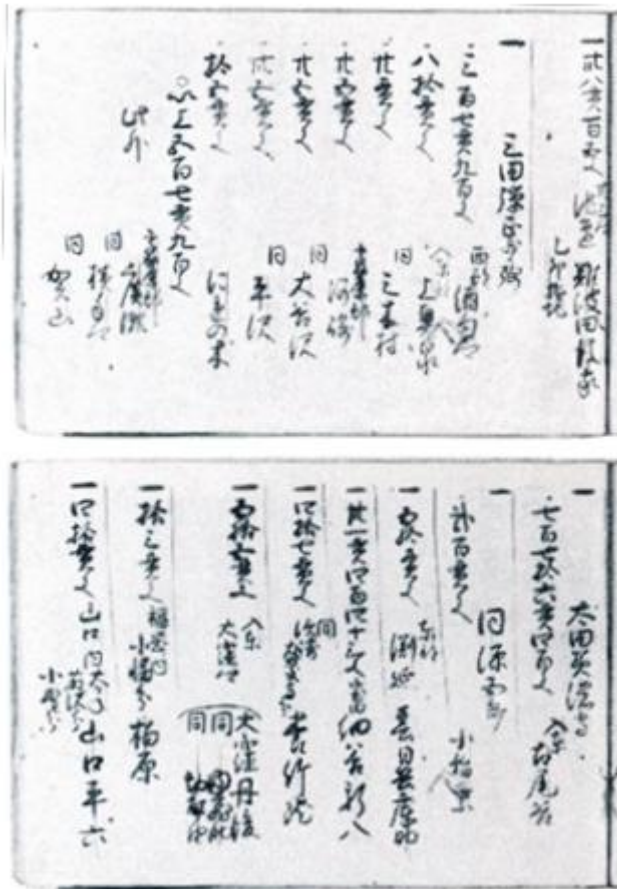
富士見市ホームページで紹介されています。

富士見市ホームページ「観る・楽しむ・学ぶ」⇒「市内のみどころ」⇒「歴史探訪『ふじみ・発見!』」⇒「南畑・東大久保地区」を参照してください。

【南畑】

南畑は新河岸川と荒川に挟まれた低地にあり、古くは難畑、あるいは難波田と書かれました。永禄2(1559)年に作成された『小田原衆所領役帳』に記された郷村名には難波田とあり、南畑八幡神社にある石碑には正徳3(1713)年難畑の文字が認められます。『新編武蔵風土記稿』には、「村名は元難畑或は難波田と書せしが、當村は荒川と新河岸川の下流に添し地にて、屢水災に罹りしを、土人憂ひて村名の文字悪き故ならんと改めたき由、安永元(1772)年御代官久保田十左衛門が支配たりし時、公に訴しかば松平右近將監より下知ありて、今の如くに書改めしと云、」とあり、この地が水難を受けることが多かったことを憂いて現在の文字に改めたとされています。また、南畑の土地自体の開拓は、古くは奈良・平安時代にまでさかのぼると考えられます。旧地図を見ると現在の富士見市立特別支援学校やみどり野南周辺は二之坪、三之坪と呼ばれ、この坪の付く地名は条里制度(古代から中世にかけて行われた耕地区画制度)に基づくものと思われます。

南畑八幡神社境内にある石碑



小田原衆所領役帳(一部抜粋)

リンク

難波田城公園まつり：出陣式（南畑八幡神社）

出陣式 神社参拝 ⇒ 三献の儀 ⇒ 勝鬨 ⇒ 出立

YouTubeへリンク（鈴木和夫さんが動画アップロードにリンク）

<http://www.youtube.com/watch?v=a5N2wEKQLkQ>

記載日：2014/10/18

この内容は、「神社の説明文」と「郷土富士見検定問題集」、「入間神社誌」、「難波田資料館の展示」、「富士見市ホームページ」等から、記載しています。

なお、ダウンロードpdfの関係を考慮して、勝手ではありますが「富士見市ホームページ」はリンクではなく全文の「貼付」とさせて頂きました。YouTubeに動画がアップロードされていたのでリンクしました。ダブルクリックしてください。